

森の学校 だより

富士山、福島、広島の3地区で、森・人・地域を育てる10年間のプロジェクト vol. 17



富士山地区 柚野エリアからの眺め

森羅万象

「これまでの5年
これからの5年」

富士山地区
NPO法人ホールアース研究所

今回のゲスト

活動スタートから6年目を迎えた、ろうきん森の学校。前号に引き続き、3地区のこれまでのをふりかえり、これからの目標を、富士山地区のNPO法人ホールアース研究所の山川勇一郎が語ります。

Q1. 富士山地区の特徴は？

富士山地区はホールアース自然学校とその隣接地域一帯の「柚野エリア」、絶景の富士山を臨む「田貫湖エリア」、ろうきん研修所富士センターの敷地「御殿場エリア」の3エリアを中心に活動をしています。キャンプなどを行う柚野エリアは積極的な活用を図ること、国立公園内の田貫湖エリアは保全を図ること、ろうきん職員の教育拠点である御殿場エリアは教育利用の促進と、各々の利用方針を掲げ、その方針の下、当初3年間は集中的に基盤整備を行いました。

Q2. これまでの主な成果は？

柚野エリアは、竹藪を刈り払い、農業と自然体験を融合した循環型サイトとして重点的に整備を行った結果、様々な人が「自然と人とのつながりを学ぶ場」としての形が整ってきました。田貫湖エリアでは、富士山を臨む田貫湖畔で地元の方と協働して「田貫湖秋まつり」を開催していますが、こちらはすっかり恒例となりました。フィールド整備と地元の理解と参加の促進、これが前半5年間の大きな成果です。プログラムについては、過去5年間に亘って様々な試みをしてきました。未就学児とその親を対象とした「森と畑のようちえん」「森と田んぼのようちえん」は、プログラム単体として黒字化することができ、昨年「ろうきん森の学校卒業生第1号」になりました。一方、新たなシリーズとして、里山の名人から直接知恵を学ぶ「おいしい里山」がスタートしています。これはパルシステム静岡とも連携して生産者と消費者をつなぐ試みでもあります。

また、ろうきん森の学校をきっかけに、新たに自分の地域で森づくりを始める学生グループも出てくる等、「自律化」と「拡大」の形が見え始めています。今後更にこの動きを推進していきます。

Q3. 苦勞していることや課題は？

上記3エリアに加え、現在は「里山つなぎ隊」というボランティア組織を立ち上げて森づくり活動を周辺地域に拡大しています。これら森林整備の担い手の育成が急務ですが、まだ十分追いついていないのが課題です。また昨年、今まで活動を担ってきたスタッフが独立しました。プログラム同様、人もろうきん森の学校を通じて成長し、巣立っていくことは望ましい姿ではありますが、今年は今後の足場固めのため、今一度「人材育成」に力を入れています。



卒業したプログラム「森と田んぼのようちえん」



人材育成がこれからの課題です。



ろうきん森の学校全国事務局
NPO法人ホールアース研究所
〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165
TEL : 0544-66-0790 FAX : 0544-67-0567
E-mail : forest@wens.gr.jp
HP : <http://wens.gr.jp>

「森にかかわる達人」
NPO法人ホールアース研究所の
山川勇一郎さんのお話は、
まだまだ続きます！

Q4. これからの目標は？

ろうきん森の学校のテーマである「日本の里山再生」を考える際、「森」だけでなく「里」、特に「農業」は必要不可欠な要素です。ホールアース自然学校では新たに農業法人を設立し、地域の耕作放棄地の問題解決に正面から取り組む予定です。一方、「森」に関わる分野では、放棄竹林の整備を引き続き行い、チップ化をした後、堆肥として農地に戻元するなど、資源の循環にも取り組んでいきたいです。



放置竹林の整備も継続しておこないます

富士山地区は、

- ①主に食農分野で魅力的なプログラムをつくり、自立を目指す
- ②森づくりの担い手を育成し、彼らが地域で活動することで活動の面的拡大を図る
- ③特にろうきん関係者を巻き込み、より主体的に関わって頂く

この3点を主な目標に、今後も活動を展開していきます。どのエリアからも絶景の富士山が臨める富士山地区で、皆さんの参加をお待ちしています。



美しい里山・柚野エリアでお待ちしております



もり沢山 森の体験レポート

体験者は白鳥 真衣さんです。
労働金庫連合会 センター総務部

子ども達を自然の中で遊ばせてあげたい、色々な経験をさせてあげたいと思い参加をしました。自然に恵まれた環境の中でのびのびと遊ぶことができ、とても有意義な一日になりました。

今回、ろうきん森の学校（福島地区）に初めて子どもと参加しました。自然にあふれ、空気が爽やかでとても心地良かったです。竹の子掘りを体験し、鍬を片手に張り切って山の中を探し回る子ども達の姿が見られました。探し出した時は満面の笑顔を見せて、とても喜んでいました。森の散策では樹木の種類や名前の由来等、自然のたくましさを教えていただきました。杉の間伐作業は想像以上に大変な作業で、子ども達もいつになく真剣な顔でのこぎりを動かしていましたが、木が倒れていく瞬間の表情からは充実感を感じ取ることができました。その時の光景、地響きは子ども達の記憶に残る貴重なものになりました。帰りの車内では「楽しかった」と口々に話しており、自然と触れあうこと

の大事さを改めて感じ、とてもよい経験ができたと思います。スタッフの方々の温かさと素早い行動力が印象的で、また行きたいと思う素敵なところでした。ありがとうございました。



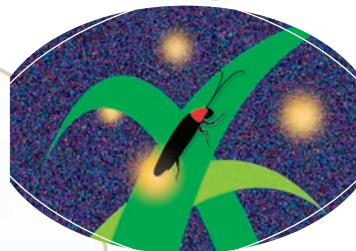
広島地区

彩り豊かな夏花と ゲンジボタルの鑑賞!



カキラン

梅雨も終わりに近づく7月になると、森の学校内は夏の花で彩られます。中でもひととき目を引くのが「カキラン」です。



ゲンジボタル

6月下旬～7月初旬にかけて、森の学校近くの小河内川ではゲンジボタルの乱舞が見られます。最盛期の6月下旬には一晩で100匹以上のゲンジボタルが確認できますので、是非ホタル鑑賞にお出かけください。



ワークショップ風景

みんなで作成した
プレイリーダーとしての夢!



3月21日(日)～23日(火・祝)の2泊3日、プレイリーダー養成ユースキャンプを開催し、高校生・大学生を中心に14名が参加しました。プレイリーダーとは「子どもと一緒に自然の中で遊び、安全を確保したり、場のセッティングをしたり、時には相談相手になったりしながら、子どもの体験活動を支援する」リーダーのことです。

参加者は、野外活動技術や子どもとのコミュニケーションのとり方、体験学習プログラムの作り方などについて、チームに分かれて実習形式で学びました。講座修了生は、今後、森の学校で開催される子どもキャンプのボランティアとして関わることで、実際の現場経験を積みながらさらなるレベルアップを図っていきます。地元テレビ局も取材に訪れ、プレイリーダー候補生の活躍を継続的に収録し番組として放送される予定です。



中国労金 新入職員研修

4月16日(金)に中国労働金庫新入職員研修がろうきん森の学校で開催されました。今年で3年目を迎えるこの研修は、中国労働金庫が、新入職員に対して環境問題や

環境保全活動への理解を深めるために開催しているものです。新入職員16名は、2班に分かれて人工林の枝打ちと森の学校フィールド内の遊歩道(階段作り)整備に励みました。小雨の降る中、それぞれの参加者はとても熱心に作業に従事し、作業終了後の感想では、「久しぶりに自然の中で汗をかくてリラックスできた」「環境について考えるきっかけとなった」など、とても前向きな感想が多数聞かれました。



教室に通じる階段を作りました!

活動 予定



森の教室オープン記念 映画上映会「アンダンテ ～稲の旋律～」

日 時:6月27日(日)

場 所:森の教室「こぞってハウス」
(ろうきん森の学校内)

対象者:小学生以上120名

参加費:小中学生800円、
高校生以上1,000円(要予約)

「アンダンテ～稲の旋律～」

「農業」「食」をテーマに、それぞれの生き方の中で、人生の転機に立つ現代人の葛藤と再生を描く、最大の話作!

富士山地区

柚野エリア

身を清め富士山頂へ! 夜 山小屋の明かりが連なります



稲穂

実が入る前の田んぼは一面青い絨毯のよう。
初夏の風が稲穂をなでるように吹き渡ります。



山開き

富士登山の際の湧玉池の真清水で心身を清めた故事にちなみ、山開きの前夜、青年等約100名が集い禊(みそぎ)をします。7月1日の山開きの後は、夜になると山小屋の明かりが連なって見えます。今年も誰かが富士山頂からの光景を胸に刻むのでしょうか。

オオルリ

幸せの青い鳥?♪ピーヒーリリ、ピーピーリ、ジジッ、と美しい声でさえずります。田貫湖周辺には夏鳥が集ってきています。

おいしい 里山シリーズ 3月



野草を持ち帰っておいしくいただきました。

3月23日に富士宮市と合併した芝川町で、郷土料理の勉強会などを長年やっている「いづみ加工所」のみなさんを先生に迎え、今回も腹ペコキッズ+里山好きな大人が集まりました。菜の花がきれいな誰かの田んぼで、一目散に野草に群がる参加者。ノカゾウ、ノビル、ツクシ、ペンペン草、フキ、タンポポ...野草の先生が毒草を



的確により分けてくれるので安心です。持ち帰ってみんなで料理し、めでたくノビルの和え物と芹とおからの煮付けが完成! 加工所で用意していただいた納豆と麴漬け、味噌汁に、参加者からの持ち寄りおかずも併せておいしくいただきました。最後はヨモギ餅づくり。やっぱり最後はスイーツですね!



ホールアース デイ 4月

春の気配が漂い、桜満開の4月初旬に恒例の「ホールアースデイ」を行いました。今回は、春の里山を満喫してもらおう、ということで、春の里山「ロゲイニング」を行いました。「ロゲイニング?」と、聞きなれない言葉。地図を片手に、里山中にちりばめられたチェックポイントをグループ

(家族や友達など)でなるべく歩き回るといもの。イノシシにエサをやったり、ジャンケンに勝てばどら焼きをもらえたり、満開の桜を見たり、抹茶を飲んだり、はたまた竹材を運び出したり。ろうきん森の学校柚野エリアのある里山で、歩き回ったり、音楽を聴いたり、富士山弁当を食べたり! こんな里山の過ごし方には是非お越しください!



活動 予定



「里山のようちえん ～四季の遊び編～」

日時: 6月26日(土)～27日(日)

場所: ろうきん森の学校周辺
(富士山地区柚野エリア)

対象者: 3歳～6歳(就学前)の幼児と保護者
参加費: 親子1組22,000円

里山のようちえん

日本には美しい「四季」という季節の移り変わりがある。四季折々の「生き物」「遊び」「味覚」。6月は草木染めをしましょう。夜は晴れたら満月の中、ホタル観察へ。ほかにもいるん虫さんや植物にも会えるでしょう。

福島地区

湯ノ岳エリア

子ども漁業「うおのぞき」体験プログラムで海を知る!



環境水族館 アクアマリン入り口

NPO会員が職員をしている、環境水族館「アクアマリンふくしま」に子ども向けの施設が最近オープンしました。一つは「アクアマリンえっく」というもので自分で釣った魚をその場で料理して食べられます。隣には「蛇の目ビーチ」という干潟・磯・砂浜の環境が再現されたものもあり、裸足になって海辺の生き物とふれあう事ができます。もう一つは子ども漁業「アクアマリンうおのぞき」です。いわきの森・川・海のつながりと循環を体験できる施設です。



蛇の目ビーチ



うおのぞき入り口



いわきの森に親しむ会 ～自然観察会～



4月24日、31名参加のもとに行いました。当日は久しぶりの晴天に恵まれました。今年は天候の関係からソメイヨシノが開花してから2週間咲きつづいたこともあり、それに1週間前から開花した山桜が加わり、桜が非常に目立ちました。遅れていた樹木の芽吹きも出揃い、春らんまんの眺めとなりました。このような自然観察会と自然観察と山野草採取の2グループに分かれて活動しました。山野草については全般的に例年より1～2週間遅れている感じで採取したものは16種類にとどまりました。タラノメ、ウコギ、セイトカアワダチソウ、ヨモギ、ツクシ、トトキ、マユミ、オヤマボクチ、ユキノシタ、ワラビ、フキ、ゼンマイ、タケノコ、ヤマウド、コゴミ、ハリギリ。採取した山野草については、天ぶら、おひたし、油いためなどにして味わいました。主食はウコギゴハン。それにおやき、パン、ピザ、焼き芋等を加えました。



活動 予定



山野草料理勉強会

日時 7月17日(土)
9:00～12:00
場所 湯ノ岳山荘
対象者 誰でも
参加費 500円



山野草料理勉強会
マツボックリやドングリ、果物などの素材を使用した花炭作りも行います。

ろうきん森の学校 活動予定

※ 上記以外にも、毎週月曜日は平日作業隊による里山整備等の活動を行っています。
平日作業隊の参加は自由で参加費もありませんが、初めての方はお問い合わせ下さい。

富士山地区

■ 柚野エリア
■ 田貫湖エリア
■ 御殿場エリア

福島地区

■ 湯ノ岳エリア
■ 岩出・好間・藤原エリア

広島地区

6月

日程 6月26～27日(土日)
内容 「里山のようちえん」～四季の遊び編～
対象 3歳～6歳(就学前)の幼児と保護者
費用 親子1組22,000円
(大人1名・子ども1名・プログラム費・税込み)
※追加1名に付き大人＝13,000円、
子ども＝9,000円
※幼児以上のご兄弟は大人料金

日程 6月19日(土) 9:00～12:00
内容 自然観察会 森の手入作業 野外料理体験
対象 どなたでも参加できます **費用** 500円

定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備
■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業
■ 第1、第3日曜日…調査
■ 第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会

5日(土) 大人の自然学校シリーズ①自分の体・心と向き合ってみよう 一般7,000円/学生5,000円
6日(日) 広島県労働者福祉協議会
～森林整備ボランティア活動(非公開)
12日(土) 広島女学院大学～ボランティア論実習(非公開)
13日(日) わくわく探検隊①～森の学校へようこそ！
仲間づくり＆野菜の植え付け 4,000円
26日(土) 小麦プロジェクト～小麦の収穫とパン作り2,000円
27日(日) 森の教室オープン記念映画上映会「アンダンテ～
稲の旋律～」小中学生800円/高校生以上1,000円

7月

日程 7月11日(日)
内容 「おいしい里山物語」
対象 満3歳以上～大人(満3歳未満同伴可能。
小学3年生以上はお子様のみで参加可)
費用 大人3,500円 子ども2,500円

日程 7月17～19(土日祝)
内容 ふじさん連休
対象 18歳以上
費用 大人33,300円

日程 7月17日(土) 9:00～12:00
内容 自然観察会 炭焼体験 炭灰作り
対象 どなたでも参加できます **費用** 500円

定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備
■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業
■ 第1、第3日曜日…調査
■ 第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会

3日(土) 下草刈と地域交流会 地域交流会参加費1,000円
4日(日) 小麦プロジェクト
～小麦の脱穀とパン作り 2,000円
10日(土) わくわく探検隊②～森で遊ぼう！カヌー&
アースウォーク 4,000円
11日(日) わくわく探検隊③～森の学校へようこそ！
仲間づくり＆野菜の植え付け 4,000円
17日(土)～19日(月・祝)
小麦プロジェクト～小麦の収穫とパン作り2,000円

8月

日程 8月20日(金)～8月22日(日)
内容 「遊牧民親子キャンプ～里山体験編～
対象 親子(子どもは幼稚園年少～小学6年生)
費用 親子48,000円/追加大人22,000円・
追加子ども17,000円

日程 8月21日(土) 9:00～12:00
内容 自然観察会 木工クラフト
足踏みロクロによるスプーン作りなど
対象 どなたでも参加できます **費用** 500円

定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備
■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業
■ 第1、第3日曜日…調査
■ 第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会

7日(土) わくわく探検隊③～たっぷり遊びしよう！
清流で沢遊び 4,000円
20日(金)～22日(日)
大人の自然学校②大人のフリーキャンプ
2泊6食(宿泊食費込)24,000円

Information

NPO法人ホールアース研究所
〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165
TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567
E-mail: forest@wens.gr.jp
HP: http://wens.gr.jp

Access

電車: JR身延線「西富士宮駅」よりタクシー15分
車: 東名高速道路富士I.C.より西富士有料道路経由40分



Information

NPO法人いわきの森に親しむ会
〒970-8326 いわき市常磐藤原町湯の岳2湯ノ岳山荘内
TEL:0246-44-3273 FAX:0246-44-3273
E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp
HP: http://www16.plala.or.jp/goan/

Access

電車: JR常磐線「いわき湯本駅」よりタクシー15分
車: 常磐自動車道いわき湯本I.C.より10分



Information

NPO法人ひろしま自然学校
〒733-0004 広島市西区打越町11-8-207
TEL:082-237-1163 FAX:082-237-8863
E-mail: nkk2002@mac.com
HP: http://www.hs-gakkou.jp/Access

Access

電車: JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分
車: 広島自動車道広島北I.C.より20分



樹になる話



空飛ぶ庭師!?

アーボリスト(Arborist)をご存知でしょうか。高い木や大きな木を専門に管理を行う人のことで、日本では、まだまだ聞きなれない言葉ですが、樹木を愛し、危険な仕事に挑む勇敢な職人たちです。百年先に美しい樹木を残そうと活動するアーボリストが増えれば、日本はもっと素敵になるでしょうね。

ろうきん森の学校は...

日本の里山再生をテーマに、労働金庫連合会の50周年記念社会貢献活動として、NPO法人ホールアース研究所が主管で行う、森林環境教育事業です。2005年度より10年間にわたり富士山、福島、広島の全国3地区で同時展開しています。